



■第 240 号 (通巻) 2020 年 2 月 10 日発行

公益財団法人富山 YMCA

〒930-0046 富山市堤町通り 1-3-14

TEL: 076 (425) 9001

FAX: 076 (424) 6937

■URL: <http://www.ymcajapan.org/toyama/jp/>

■Email: [tutumi.kyoyu@toyamaymca.org](mailto:tutumi.kyoyu@toyamaymca.org)

■発行人: 神保勝己

## 2020 年のピンクシャツデーは 2 月 26 日(水)

神保勝己 (公益財団法人富山 YMCA 総主事)

わたしたちは色々な事柄について、自分の価値観や、経験したこと、学んだことで判断し、見えているモノも見えていないモノもわかっている前提で判断します。実際はどうでしょうか、わたしたちは何を見て、何をわかっているのでしょうか。見えないモノの価値についてわかっているのでしょうか。いじめをはじめとする『いのち』を軽んじる事件や事故を起こしているのは、「見えるモノ」としてある個人の価値観や所有しているものばかりに関心がいってしまうことが要因ではないでしょうか。

相模原殺傷事件の公判が先日行われ、植松被告の刑事責任能力が問われています。「意思疎通できない障がい者は安楽死させるべきだ」と根深い差別意識と、見えるモノでの判断。現代社会の歪みがこの事件の背景にあります。「弱者に思いやりを」「弱者を差別しない社会を」とマスコミも呼びかけます。なんら違和感もない大切な呼びかけです。しかし、明らかに弱者とそうではない人とを区別しての発想で、弱者と共に生きるという事にはなっていきません。私たち一人ひとりには、神様から与えられたかけがえのない『いのち』があり、同じ権利を有しています。しかし、「LGBTのカップルのために税金を使うことに賛同が得られるものなのでしょうか。彼ら彼女らは生産性(子どもを作らない)がない」と「生産性」という物差しで人を区別する国会議員の発言もありました。植松被告が持っていた排除の論理とつながるのではないのでしょうか。

いじめについても、いじめをしない人、いじめに加担しない人でも、『自分とあの人とは違う』と何かしらの違和感や優劣をつけてしまいます。社会全体においても、そういった差別・いじめの根底にある目に見える違いや、目に見える価値での判断や排除が多く溢れています。見えないモノの存在や価値の大切さを私たちは意識し、物事の判断をしていきたいものです。

「ピンクシャツデー」は、2007年、カナダの学生2人から始まったいじめ反対運動です。ある日、ピンクのポロシャツを着て登校した少年がいじめられ、それを聞いた先輩2人が50枚のピンクシャツを購入、インターネットで「明日、一緒に学校でピンクのシャツを着よう」と呼びかけました。翌日学校では呼びかけに賛同した数百名の生徒で学校中がピンク色に染まり、いじめが自然となくなったそうです。

このエピソードはSNS等で世界中に広まり、今では70カ国以上でいじめに反対する活動が行われています。カナダで最初にこの出来事があった日が、2月の最終水曜日でした。それ以降、2月の最終水曜日に私たちもいじめについて考え、いじめられている人と連帯する思いを表す1日としています。 <https://www.ymcajapan.org/campaign/pinkshirtday/>



# English Camp for Global Leadership (ECGL) 2019 報告

私は、中高生英語キャンプ ECGL に参加しました。今回の ECGL は私にとって 2 回目の参加でした。もう 1 度参加しようと考え理由は 2 つあります。1 つ目は、自分の英語力を試したかったからです。そして 2 つ目は、自分に自信をつけたいと考えたからです。

リーダーという方々は、私達にモデルスピーチをしてくれます。スピーチは、彼らのバックグラウンドやグローバル・イシューについてが主な内容です。そのスピーチから多くのことを学ぶことができますのですが、私は前回、彼らが何を言っているか理解できない時が多々あり、悔しい思いをしました。しかし、今回は内容を理解できただけでなく、前回できなかった質問もすることができ、他にも最終日の個人スピーチでは、前回よりも難しい内容のテーマに挑戦することができました。そして、英語力の成長を実感することができました。また、リーダーには私と年齢が近い方が多かったのですが、私よりも視野が広く、考え方の規模が大きく、様々な経験も豊富でした。その大きな違いが良い刺激となり、私も自分の目標を見つけ、その目標に向かって、常に努力し続けようと思うきっかけになりました。私は一昨年、ECGL を通して自分に自信が付き、積極

性を身につけることができました。授業では今までより発言できるようになったり、自分の視野や興味を広げるために様々なイベントに積極的に参加したり、苦手なことにも挑戦する原動力となりました。私は、4 月から大学生になります。大学では高校と違い、ただ待っているだけではチャンスは得られません。そのため、ECGL でさらに自分に自信をつけ、春から良いスタートをきるために 2 回目の参加を決意しました。

全国から集まった中高生やリーダーと意見を交わし、彼らと 4 日間を共に過ごすことは、コミュニケーション能力の向上だけでなく、自分の視野を広げることにも繋がりました。そして、個性豊かな友達もつくることができました。これからも様々な活動に参加し、出会いの場を広げ、そこでの出会いを大切にしていきたいです。

吉田海瑠 (高3)



ECGL の会場へと向かう途中の私の心境は正直不安しかありませんでした。英語を流暢に話す人ばかりなんだろうな...きっと授業も全然わかんないだろうな...。と思いつつ、バスの降りる場所を間違えながらもなんとか会場に到着しました。会場についてすぐにオリエンテーションが始まったのですが、先生達や参加者みんなのフランクさに驚きました。皆すごく笑顔で優しくてなんかやっつけいけそう!! という兆しが見えたのですが、その後の即答トレーニングなるもので私は一気に底へと突き落とされました。いくつかのお題の中から適当に一つ選び、そのお題に対する答えを一分間英語で話さなければならないのですが、私は自分の英語を話すという苦手意識と緊張から何も話せず一分間ずっと黙ってしまいました。本当に情けなくて、恥ずかしくて本気で泣きそうになりました。二回目、また自分の番が回ってきた時、なんとかつたない英語で話すが、話すことができ少し安心したことを覚えています。とにかく出川イングリッシュの様に何でも口に出すことがやはり大切だと実感しました。2 日目と 3 日目はあっという間でした。限られた時間でスクリプトやスライドを作り、夜はグループの皆で廊下で練習

して、消灯後も一人でベッドの中で練習して...大変でしたが本当に達成案がありました。休憩中に見に行っただ海や夜のファンタイムは今でも忘れません。最終日は一人で皆の前でスピーチしました。自分は将来について話したのですが、ものすごく緊張したけど、終わった後のみんなからの拍手で、なんとというか、ECGL へ来た意味がやっと見つけられた気がして、自分の席へ戻った時は充足感に包まれていました。それは ECGL を勧めてくれた職員の方、親、先生、そして出会えた仲間のおかげです。2019 年最後に最高の思い出ができました。Thanks ECGL !!

関矢真子 (高2)

## 妙高高原チャレンジスキーキャンプ報告

12月26日(木)～29日(日)の4日間、妙高高原赤倉温泉スキー場にてチャレンジスキーキャンプを開催いたしました。年末から1月にかけて、暖冬による記録的な雪不足が各地で叫ばれていましたが、日本有数の豪雪地帯である妙高高原も例外ではありませんでした。例年であればキャンプ開催2週間前にはスキー場がオープンし、良いコンディションの中で滑走することができるのですが、今年度は開催直前にやっと降雪があり、何とかスキーキャンプに間に合ったという状況でした。キャンプ期間中は積雪量の少なさから、ゲレンデ内はブッシュ(草が生えている場所)している箇所もありましたが、子どもたち&リーダーたちは神様からの恵みの雪に感謝しながら、存分にスキーを楽しむことができました。

大きな事故やケガ、また体調を崩すこともなく4日間のキャンプを無事に終えることができました。妙高高原チャレンジスキーキャンプをお支えくださった多くの皆様に、心より感謝申し上げます。 中川喬之(ウエルネス事業チーフ)



## わいわい萩っ子

### 「鬼は外！鬼は外だつてばー！！」

2月3日は節分ということで萩浦保育園でも豆まきがありました。遊戯室で節分の由来やクイズを楽しみ、『鬼のパンツ』のダンスを披露しました。その後に保育室に帰ってきて、鬼の絵に向かって豆に見立てたボールを投げて遊んでいるとテラスに何やら怪しい気配…。ドンドン！と窓を叩く音に目をやると、そこにはじーっと中を覗き込む赤鬼と青鬼が！！あまりの迫力に泣いて逃げる子がほとんどでしたが、涙をこぼしながらも勇敢に鬼に向かってボールを投げて戦っていた子もいました。0歳児の中には初めて見たであろう鬼の存在に全く動じない猛者もいましたよ。「おにはーそと！ふくはーうち！」と泣きながらもみんなで力を合わせて鬼をやっつけ、一安心。きっと子どもたちの心の中に棲んでいた様々な鬼も退治されたことと思います。 杉村侑子



### 萩浦保育園 2・3月行事予定

#### 2月

3日(月)節分  
6日(木)卒園記念写真撮影  
13日(木)親子茶会  
18日(火)萩小交流会  
20日(木)入園説明会

#### 3月

3日(火)ひな祭り  
5日(木)お別れ会  
12日(木)ありがとうの集い  
20日(金・祝)卒園式





## ●スプリングプログラムのご案内●

### 2月12日(水)より参加者募集中!

2019年度を締めくくる春の特別プログラムの参加者を募集しております。配布中のチラシもしくはHPをご覧ください、ぜひお問い合わせください。

今回は、特別野外活動や英語クラスなど新しいプログラムも盛りだくさんです!!

お申し込み・お問い合わせは・・・

堤町センター 076-425-9001 まで

(スプリングスクール in フリーポートにつきましては、駅前センター 076-431-5588 までお願いします。)

一般受付は2/19(水)10:00よりスタートします。

## ●無料体験クラスについて●

前号でもお知らせいたしました。2月、3月にかけて無料体験レッスンを開催いたします。

新しいことを始められたいとお考えのご家族、お友達にぜひお声がけください。

英会話:3月17日(火)、21日(土)@堤町センター

3月19日(木)、21日(土)@駅前センター

体操:3月21日(土)@堤町センター

サッカー:3月6日(金)@中央小グラウンド

理数スペシャリスト(中高生):

3月18日(水)@駅前センター

詳しい時間や内容はチラシまたは各センターまでお問い合わせください。

堤町センター 076-425-9001

駅前センター 076-431-5588

チラシはHPにも掲載されています。

## ▼ご寄付のお礼▼

ファインネクス株式会社 様より、

フリースクールの活動を支援して頂くご寄附を頂きました。また今年度より富山YMCAを支えて頂く賛助会(法人)にもお加わり頂きました。心より感謝申し上げます。

フリースクールでは、学校だけではない、子ども達が安心して過ごせる居場所として、学習サポートやフリースペース、海外スタディーツアーなどの活動を行っています。子ども達の健やかな成長のために大切に使用させていただきます。

## ■2月の活動のご案内■

### ウエルネス

23日(日) 「アルペンスキーに挑戦!」

@あわすのスキー場

→詳細は担当(中川・田中)までお尋ねください。

### 語学事業

3月2日(月)~3月7日(土) PINK SHIRT Week

詳しくは各クラスでご案内します!

### Y's さくらカフェ

◆2月ランチ定食メニュー(700円)

※ランチは毎週火・金曜日のみ

+100円で飲み物(コーヒー・紅茶・ハーブティ)がつきます。

- |     |        |           |      |
|-----|--------|-----------|------|
| 14日 | パスタランチ | サラダ       | パン付き |
|     | 日替わり定食 | ハムと野菜の炒め物 |      |
| 18日 | パスタランチ | サラダ       | パン付き |
|     | 日替わり定食 | カレー       |      |
| 21日 | パスタランチ | サラダ       | パン付き |
|     | 日替わり定食 | ハッシュドビーフ  |      |
| 25日 | パスタランチ | サラダ       | パン付き |
|     | 日替わり定食 | ポークソテー    |      |
- \*28日はお休みです。

◆イングリッシュカフェ(木)14:20~15:20

一般1,500円、会員1,200円

外国人講師と楽しい会話の時間をお過ごしください。

要予約:076-431-5588(駅前センター受付)

**2月の最終週はPINK SHIRT Week!**  
各センター、各事業で開催する予定です。PINK SHIRT コーナーでは、みんながメッセージを貼ったり取り組みの様子を掲示したりしていきます。ピンク色のグッズを準備してクラスにご参加ください!

## すみれのつぶやき

1月某日、駅前センターで、進級のかかった課題に取り組む生徒がいました。締め切りを聞くと、明日。手伝うことにしました。どれどれ見せてごらん。物理。うん全く分らん。こちらも勉強させられながら、気付くと23時。区切りがついたので、「明日きちんと出せよー」と、その日は解散しました。次の日、彼は寝坊しました。あとはご想像にお任せします。